

国、府県、市等の多様な関係者が連携し、洪水による被害を軽減するためのハード・ソフト対策の総合的かつ継続的な推進を目的とした「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しました。会議では、主な取り組み等の時点修正、流域タイムラインの他、関係者の様々な取り組み状況について情報共有が行われました。

<猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会の概要>

○開催日：令和7年6月11日（水）14:00～15:00

○場所：猪名川河川事務所 2階 第1会議室 及び Web会議

○出席者：約30名 豊中市、池田市、尼崎市、伊丹市、川西市、大阪府、兵庫県、大阪管区气象台、神戸地方气象台、一庫ダム管理所、阪急電鉄(株)、北大阪急行電鉄(株)、能勢電鉄(株)、猪名川河川事務所

【概ね5年(令和3年～7年)で達成すべき目標、及び3本柱の取り組み】

◎5年度で達成すべき目標

猪名川・藻川の大規模水害に対し「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す

◎目標達成に向けた3本柱の取り組み

- ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確な避難行動のための取り組み
- ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取り組み
- ③一刻も早い生活再建・社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取り組み



取り組みの進捗状況・情報共有等について

■「主な取り組み項目」の確認・時点修正について

- ・取組機関(気象庁)の追加。
- ・避難行動支援(尼崎市)の追加。

■取り組みの報告(猪名川河川事務所)

令和7年6月4日に兵庫県建設業協会会員、大阪域協定業者等を対象とした災害対策用機械設置訓練を実施。

■流域タイムラインについて

令和5年度出水期より運用している猪名川流域における各機関単位の行動計画をまとめた流域タイムラインの実施内容の確認。

■情報提供(猪名川河川事務所)

(内外水統合型水害リスクマップ作成状況について)

一般利用者へのわかりにくさの解消、土地利用検討の反映を含めて今年度中の公表に向けて調整。

(特定都市河川制度取り組み状況について)

これまでのワーキングの開催状況、今後の指定までのスケジュール案を提示し、特定都市河川指定の早期指定を目指す。

(河川事業で発生する土砂の有効利用(レジリエンススペース)について)

レジリエンススペースのメリット(沿川の防災機能向上、土砂処分費用の低減、カーボンニュートラルへの貢献)について説明。

(自然災害伝承碑について)

国土地理院が推奨している自然災害伝承碑の地図掲載について説明。

■情報提供(大阪府都市整備部)

(特定都市河川の先行事例について)

淀川水系芥川の指定手続き開始状況を説明し、特定都市河川の指定を有用なツールとしてとらえて、今後、他流域へ拡大を目指す。